

第37回沖縄県高等学校野球部対抗競技大会要項

1. 名称 第37回沖縄県高等学校野球部対抗競技大会
2. 目的 シーズンオフにおける基礎体力の増強を図り、併せて野球の技術向上に資することを目的とする。
3. 主催 沖縄県高等学校野球連盟
4. 主管 沖縄県高等学校野球連盟技術部
5. 期日 平成21年1月10日(土) *雨天時の予備日1月12日(月)
6. 時間 午前9時より連盟表彰 9時30分より競技開始
7. 会場 宜野湾市陸上競技場(表彰、開閉会式、100m、1500m、1800mR、遠投、立ち三段跳び) 中北部地区より開始
宜野湾高校(打撃、塁間走、塁間継投) 那覇南部地区より開始
宮古、八重山、久米島は各地区で選定。
8. 種目 ①100m ②1500m ③1800mR ④立ち三段跳び ⑤遠投 ⑥塁間継投 ⑦塁間走 ⑧打撃
9. 競技内容
①100m⇒1チーム9人、1人1回の試技(ズック履き)とし、その平均で競う。
②1500m⇒1チーム9人、1人1回の試技でその平均で競う。
③1800mR⇒1チーム9人で1人200mの9人による継走、順位は決勝を優先し、決勝順位後は予選のタイム順とする。
④立ち三段跳び⇒9人による1人3回の試技、3回の試技中最長距離をとり、9人の平均で競う。
⑤遠投⇒1チーム9人、1人2回の試技で最長距離をとり9人の平均で競う。試技幅15mとし、これよりはずれると失格となる。(練習は無く試技のみとする)
⑥塁間継投⇒4人による2回の試技を行い、最短時間を競う。各塁の選手はあらかじめ予備ボール2個保持し、失投の時は予備ボールを、失投した選手の方から送球し継投する。4人中1人でも予備ボールがなくなり継投が継続できなくなった場合は、その回の試技は失格となる。また、送球の際、触塁しない場合は1回につき0.5秒加える。
* 継投順序は次の通りとする。
1 捕手→2 一塁手→3 二塁手→4 三塁手→5 捕手→6 三塁手→7 二塁手→8 一塁手→9 捕手→10 二塁手→11 三塁手→
12 一塁手→13 捕手→14 二塁手→15 一塁手→16 三塁手→17 捕手→18 二塁手→19 捕手→20 三塁手→
21 一塁手→22 捕手→23 二塁手→24 捕手→25 一塁手→26 三塁手→27 捕手
⑦塁間走⇒9人で1回試技。順序は本塁→1塁→2塁→3塁→本塁と一周。塁の空過は1回につき0.5秒加える。
⑧打撃⇒9人による1人4打とし、最長距離をとる。試技はスタンディング・ティバッティングとし出場選手は各チームのヘルメットを着用する。ただし、60m以下は記録なしとする。
10. 申込方法 競技大会当日、9時00分まで受け付ける。その際全種目の記録用紙、各種目別記入用紙に選手名を記入し提出する。選手の変更は当日の受付時まで認める。(選手名はフルネームではっきりと書くこと。集計に困ります。)
11. 表彰 各種目とも団体3位、個人3位まで表彰する。団体、個人とも3位まで賞状を授与する。各種目とも個人1位には楯を授与する。
12. 服装 選手は正式のユニフォームか学校名の入ったユニフォームを着用する。(学校名がはっきり分かること)
13. 用具 ボール、バット、ヘルメット等必要なものは各チームで準備する。但し、大会に必要なボール、用具は本部で準備する。
14. その他 ①宮古、八重山地区は理事で競技を運営し、その記録(タイム系は100分の1秒まで、距離系はcmまで記録)を送付する。久米島高校は部長、監督で行い記録を送付する。
②生徒の弁当は、当日、弁当業者が販売しますのでご利用下さい。
③各チームの部長、監督は大会運営にストップウォッチを使用しますので持参して下さい。
④各チームのマネージャーは当日補助員(記録係)として協力させて下さい。